

# ミサイル艇「うみたか」新潟に勇姿 募集対象者及び援護協力者に特別公開



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、10月3日（土）4日（日）新潟市にある新潟西港において、ミサイル艇「うみたか」の特別公開を行いました。ミサイル艇「うみたか」の県内への入港は、昨年度に続き2年連続となります。

ミサイル艇「うみたか」の特別公開には、各地域事務所広報官の案内により、二日間で約150名が訪れました。参加者は、10名程度のグループで乗組員に案内され、甲板から船室、艦橋などを見学し、ミサイル艇の特徴などの説明を受けました。特に主兵装である対艦ミサイルの長大な射程や時速40ノット以上の高速機動性能の説明には驚きの声を上げていました。





下船後、「うみたか」勤務員によるラッパ吹奏展示が行われ、海の防人の妙技を堪能しました。参加者からは、「ラッパ吹奏が素晴らしかった。音量がとても大きく、どこまでも響く力強さを感じた」「乗組員のダイバーは300メートル以上も潜水できると聞いて驚いた」「格好良かった。将来、入隊してこの様な船で働きたい」等の様々な感想を述べていました。



艦艇の前では新潟地本広報室が「南極の氷」の展示ブースや自衛隊ダーツコーナーなどを設置し、参加者を楽しませていました。公開終了の際には、参加者一人一人が自由にメッセージを書き入れた寄せ書きが「うみたか」にプレゼントされ、乗組員と記念撮影を行いました。



新潟地本は、今後も艦艇広報を通じて海上自衛隊に対する理解を深めるとともに、更なる志願者の獲得に繋げていきます。